

別添リスト

「花と緑の連携授業」 講師紹介



令和3年4月


岐阜県立 **国際園芸アカデミー**
Gifu International Academy of Horticulture

目 次

<花き生産>	
白田 浩通	1
○岐阜県の花き産地の動向と方向性について	
○フランネルフラワーの栽培	
前田 宝秀	2
○切り花の鮮度保持	
○トルコギキョウの交雑育種	
○マイクロ寄せ植えの生産技術	
<花き装飾>	
吉田 久美子	3
○ウェディングブーケ	
○花束ラッピング（花束中級）	
○アシストを使った花束（花束初級）	
林 誠	4
○季節の花を使った商品（花束）	
○季節の花を使った商品（アレンジメント）	
<造園緑化>	
今西 良共	5
○「みどり」と快適な環境	
相田 明	6
○園芸福祉入門 ～アロマセラピーとエアフレッシュナーづくり～	
○個人庭園の公開による花と緑のまちづくりーオープンガーデン活動ー	
○現代アートをつくるワークショップ	
新井 俊宏	7
○造園技術を学ぶ	
<流 通>	
井上 守	8
○世界の珍しい植物から見える生き残り戦略	
○バイオフィリア：人間はなぜ植物を求めるのか？	
グリーンゴールドの時代に向けて	
<経 営>	
佐藤 智茂	9
○働く人のための法律、労働法の基本を学ぼう	
○マネーリテラシーを学ぼう（生活費と給料）	

「花と緑の連携授業」の紹介

○ 講 師


	うすだ ひろみち 教授 臼田 浩通
	東京農業大学農学部農業経済学科卒業。 岐阜県農業改良普及指導員、県庁農産園芸課花き担当チーフ、恵那農林事務所農業普及課長等を経て現職。 普及指導での経験を活かし、現場目線での人材育成を目指す。 【担当分野】 花き生産

○ 内 容

テ ー マ	岐阜県の花き産地の動向と方向性について
授業の内容	岐阜県は全国を代表する鉢物産地です。 近年の消費者の購買行動が多様化するなかで、花き生産者は生産・販売に様々な努力をしています。 こうした生産者の挑戦を紹介するとともに、みなさんと鉢物生産の今後について意見交換をしたいと思います。
テ ー マ	フランネルフラワーの栽培
授業の内容	岐阜県では、フランネルフラワーの育種に取り組み、これまでに切り花用・鉢花用品種の開発と生産振興に取り組んできました。フランネルフラワーは茎や葉が柔らかな毛で覆われ、他の花き品目にはない特徴があり、ブライダルや鉢花として人気があります。 そんなフランネルフラワーの魅力や栽培方法について紹介します。

「花と緑の連携授業」の紹介

○ 講 師


	<small>まえだ たかひで</small> 准教授 前田 宝秀 博士（農学）
	名古屋大学大学院生命農学研究科博士課程後期課程修了。 専門は植物生理学で、大学では植物の花芽形成に関する研究を行ってきた。国際園芸アカデミーでは苗物・鉢物の生産を担当し、手の平サイズのマイクロ寄せ植えや、サクラの鉢物商品開発に取り組む。生産技術だけでなく、マネージメントや新商品の開発スキルを有した人材育成を目指す。 【担当分野】 花き生産

○ 内 容

テ ー マ	切り花の鮮度保持
授業の内容	ホームユースの切り花は、生産者から市場などを経て店頭に並び、消費者のもとに届きます。切り花も生き物であるため、この過程で老化が進行しています。切り花が老化する生理学的仕組みについて解説し、切り花をもっと長い期間、消費者に楽しんでもらうために必要な科学的方法について紹介します。
テ ー マ	トルコギキョウの交雑育種
授業の内容	嗜好品としての性格が強い花きは、穀物・野菜・果物などと比べて品種のライフサイクルが短いという特徴があり、消費者のニーズを満たすため、毎年多くの新品種が誕生しています。新品種育成の主たる方法である交雑育種法について、基本原理を解説します。また、実際に育種家になったつもりで、トルコギキョウの遺伝特性をもとに、交配戦略を立てて交配親候補を選定もらいます。
テ ー マ	マイクロ寄せ植えの生産技術
授業の内容	国際園芸アカデミーでは、2号底面給水鉢（直径約6cm）に、4～6株の開花した花壇苗を寄せ植えした商品「マイクロ寄せ植え」を開発しました。手のひらサイズのマイクロ寄せ植え商品開発の経緯と今後の展望について解説します。また、実習形式でマイクロ寄せ植え用の苗の播種も体験してみましよう。

「花と緑の連携授業」の紹介

○ 講 師

	よしだ くみこ 准教授 吉田 久美子
	恵泉女学園短期大学園芸生活学科卒業。(株)ゴトウ花店、(株)白楽花園本店店長、(株)東光園（現；(株)グリーン・ワイズ）販売部部長などを経て現職。生花・鉢物販売や、デパート・ホテル・イベントなどにてグリーンディスプレイを多数手掛ける。フラワー装飾技能士。 【担当分野】 花き装飾


○ 内 容

テ ー マ	ウェディングブーケ
授業の内容	フラワーデザインの一つウェディングブーケの解説と作成を行います。 ウェディングブーケの発祥、欧米での教会装飾の歴史や、ウェディングドレスとのコーディネートなど実践的な話の後、基本形のラウンドブーケを各自制作してみましよう。 ＊ 実習材料費2,000～3,000円／人
テ ー マ	花束ラッピング（花束中級）
授業の内容	生花店での基本技術である花束の製作・ラッピング方法の実践講義を行います。 スパイラルテクニックや、ラッピングの色合わせをカラーサークルから学びデモンストレーション後、各自制作してみましよう。 ＊ 実習材料費1,000～1,500円／人
テ ー マ	アシストを使った花束（花束初級）
授業の内容	生花店での基本技術である花束の製作・ラッピング方法の実践講義を行います。 アシストを使用し、パラレルテクニックや、ラッピングの色合わせをカラーサークルから学び、デモンストレーション後、各自制作してみましよう。 ＊ 実習材料費1,000～1,500円／人

※受講者のレベルに合わせて内容は応相談

「花と緑の連携授業」の紹介

○ 講 師

	はやし まこと 講師 林 誠
	名古屋造形芸術大学デザイン科卒業。青山フラワーマーケット勤務。店長を経て、本部にて仕入れ責任者として店長育成や店舗運営指導を担当の後、現職。生花店で培ってきた経験やノウハウを次世代に引き継ぐべく、実践的な指導を行う。 【担当分野】 花き装飾


○ 内 容

テ ー マ	季節の花を使った商品（花束）
授業の内容	季節の花材を使用した花束の制作の実践及び講義を行います。 花の特徴の生かし方や使い方、色合わせなど制作技術を教えます。 私のデモンストレーション後、各自制作してみましょう。 * 実習材料費2,000～4,000円／人

テ ー マ	季節の花を使った商品（アレンジメント）
授業の内容	季節の花材を使用したアレンジメントの制作の実践及び講義を行います。 花の特徴の生かし方や使い方、色合わせなど制作技術を教えます。 私のデモンストレーション後、各自制作してみましょう。 * 実習材料費2,000～4,000円／人

「花と緑の連携授業」の紹介

○ 講 師


	<p style="text-align: center;">いまにし よしとも 学長 今西 良共</p> <p>千葉大学園芸学部環境緑地学科卒業。名古屋市役所職員として長年に亘り公園緑地行政に従事。公園緑地の計画から管理運営まで幅広く携わるとともに、花や緑にふれあう機会の提供や市民活動の支援など様々な事業を展開。国や地方公共団体の審議会・委員会等の委員多数。</p> <p>【担当分野】造園緑化</p>
---	---

○ 内 容

<p>テ ー マ</p>	<p>「みどり」と快適な環境</p>
<p>授業の内容</p>	<p>「みどり」とはなんでしょう？そして「みどり」はどのような役割や機能があるのでしょうか？道路や住宅、設備などと同じように人が生きていく上で必要不可欠なものです。</p> <p>今、地球規模では気候変動や温暖化の進行、ヒートアイランド現象の顕在化が見られます。また、人の生活レベルではデジタル社会の中で心身ともにストレスが拡大しています。</p> <p>こういった現代のさまざまな課題の解決につながる「みどり」について、公園や街路樹、身近な緑などについて解説します。</p>

「花と緑の連携授業」の紹介

○ 講 師


	<p style="text-align: center;">教授 <small>あいだ あきら</small> 相田 明 博士（造園学）</p> <p>東京農業大学大学院農学研究科農学専攻博士後期課程修了。同大学造園科学科助手を経て現在に至る。</p> <p>専門は造園史・造園原論、環境・景観計画学。共著に『造園技術の思想／ランドスケープアーキテクトの風景』（環境緑化新聞社）、『ほこりーまちなみ、景観、歴史・6』（ぎょうせい）、『ランドスケープ批評宣言』（INAX出版）、『消える日本の自然』（恒星社厚生閣）、『写真で見る自然環境再生』（オーム社）、『農業技術体系 花卉編 追録13号 第4巻』（農文協）、『バイオセラピー入門書』（講談社）など。</p> <p>【担当分野】造園緑化</p>
---	--

○ 内 容

<p>テ ー マ</p>	<p>園芸福祉入門 ～アロマセラピーとエアフレッシュナーづくり～</p>
<p>授業の内容</p>	<p>園芸福祉において、ハーブを育てたり利用したりすることは多々あります。ハーブを中心に「植物から抽出したエッセンシャルオイル（精油）を取り入れることで、心と体のバランスを整える健康法」をアロマセラピーといいます。この授業ではアロマセラピーの講義とワークショップ「エアフレッシュナーづくり（香りのアロマスプレー）」を通じて、園芸福祉での応用について紹介します。</p>
<p>テ ー マ</p>	<p>個人庭園の公開による花と緑のまちづくり —オープンガーデン活動—</p>
<p>授業の内容</p>	<p>いくらきれいだと思っても他人の庭に入って見ることはなかなかないと思います。しかし、公開日時や連絡先を記載した冊子をつくり、他人に自分の庭を公開するオープンガーデン活動をしている人がいます。町に花と緑が少しでも増えて欲しい、庭で提供されるお茶の代金をチャリティーとして寄付し、社会とのつながりを持ちたいなど様々な理由で自分の庭を公開しています。</p> <p>ここでは、イギリスと日本（岐阜にもあります）のオープンガーデン活動について紹介したいと思います。</p>
<p>テ ー マ</p>	<p>現代アートをつくるワークショップ</p>
<p>授業の内容</p>	<p>日本の文化・芸術を紹介するビデオでは、必ずといっていいほど日本庭園が紹介されており、造園と芸術はもっと近い関係にあってよいと思います。</p> <p>このワークショップでは、造園家としてどのように芸術と向かい合ったらよいのかを考えます。自然素材、たとえば土や木や石を使いながら、現代アート作品をみんなで作りましょう。</p>

「花と緑の連携授業」の紹介

○ 講 師


	准教授 <small>あらい としひろ</small> 新井 俊宏
	東京農業大学造園学科卒業。(株)アーク造園設計事務所を経て岐阜県庁入庁。公園緑地課、花フェスタ記念公園、都市公園課などを経て現職。1級造園施工管理技士、1級土木施工管理技士、技術士補（建設部門）、岐阜県自然工法管理士などの資格を持つ。学生同士の協調性と個人の創造性を伸ばすことに主眼を置いて指導している。 【担当分野】造園緑化

○ 内 容

テ ー マ	造園技術を学ぶ
授業の内容	「日本庭園」は古臭くて、退屈なものと思いませんか？ 日本庭園は日本が世界に誇る文化のひとつです。先人たちの叡智によって生み出され、その造園技術は現在の庭づくりにも活かせるものがあります。この授業ではその日本庭園に用いられている造園技術を、国際園芸アカデミーでの作庭実習の実例を通して紹介します。

「花と緑の連携授業」の紹介

○ 講 師


	<p style="text-align: center;">いのうえ まもる 准教授 井上 守 博士（農学）</p>
	<p>名古屋大学大学院生命農学研究科博士課程後期課程修了。榊福花園植物流通センター、豊明花き(株)など、花き流通業界に勤務。マーチャндаイジングからプロモーションまでを実例で講義する。</p> <p>恵那農業高校 学校評議委委員や名古屋市立大学経済学研究科で農業マーケティングの講座を持つ非常勤講師でもある。</p> <p>農業経済を「シェアオークションにおける最適分配の研究(1999)」「花き卸売市場における機械セリの経済分析(2004)」。特許：「長期的視点に立った大口優先取引システム(LST)」を日米で出願（特許公開2006-72734,US:2006/0080213A1）。</p> <p>【担当分野】 流通</p>

○ 内 容

テ ー マ	世界の珍しい植物から見える生き残り戦略
授業の内容	<p>世界には驚くような形態や生育をする植物がたくさんあります。この講義では、講師が集めた写真を中心に紹介しながら、この驚きの形態や生育が生存競争を勝ち抜くために進化して、実は理に合っている事を説明します。</p> <p>紹介予定植物（バオブブ、ラフレシア、奇想天外、オフィリス等20品目）</p>
テ ー マ	<p>バイオフィリア：人間はなぜ植物を求めるのか？</p> <p>グリーンゴールドの時代に向けて</p>
授業の内容	<p>近年、植物が人間に及ぼす様々な効果について研究が進んでいます。その結果、花や緑の効用をビジネスに生かすたくさんの取り組みが始まっています。この流れを園芸研究家の4代目金岡又右エ門氏はこのことを～Green Goldの時代～「健康な植物（みどり）で社会の課題を解決する」と表しています。</p> <p>この講座では、植物が人間に及ぼす影響を研究した様々な取り組みを紹介します。エコプランツと呼ばれる植物が有害物質を除去する環境浄化作用や植物自身が発する有効成分などの研究という科学的実験から、「植物をオフィスに置いたら作業効率は上がるのか？」とか「中学校の教室に1年間や花や緑を絶やさず置いたら中学校はどう変化したか？」などの社会的実験などを紹介し、グリーンゴールド時代へ誘います。</p>

「花と緑の連携授業」の紹介

○ 講 師

	<p style="text-align: center;"> <small>さとう ともしげ</small> 准教授 佐藤 智茂 修士（法学） </p> <p> 名城大学大学院法学研究科修士課程修了。税理士法人中央経営勤務を経て現職。 本校におけるキャリア教育及び経営関連科目全般を担当。現在取り組んでいるテーマは、「ケースメソッド形式の講義運営方法を取り入れた、授業運営における学生の自律自発的な学習姿勢の育成及び能力開発」 【担当分野】 キャリア、経営 </p>
---	--

○ 内 容

テ ー マ	働く人のための法律、労働法の基本を学ぼう
授業の内容	高校を卒業後に社会人となる人、進学してアルバイトを始めようとする人に知って欲しい、「働く人のための、働くことに関する法律知識」労働法（規）の基本的な知識を学びましょう。
テ ー マ	マネーリテラシーを学ぼう（生活費と給料）
授業の内容	<p>毎日何気なく使っている“お金”、そんなお金のことをしっかりと考えてみたことはあるでしょうか。</p> <p>近い将来に経済的自立を求められる高校生の皆さんに、自活するために必要な“お金”について、一人暮らしの1ヶ月の生活費を題材に考えてみましょう。</p>

注1：講義内容の詳細に関しては事前のミーティングの上でアレンジ可能です。

注2：個別具体的な事例に関する回答（見解）は出来ません、ご了承ください。